

公募助成「腎不全病態研究助成」研究サマリー

研究名称	腫瘍性骨軟化症の遺伝子プロファイリングによる FGF-23 発現調節機構の検討
氏名	今西 康雄
所属機関	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学
<p>腫瘍性骨軟化症(TIO)は、間葉系の原因腫瘍より FGF-23 が過剰に分泌され、リン利尿とビタミン D 活性化障害が生じることで、低リン血症性骨軟化症を呈する腫瘍随伴症候群である。今回の我々の検討で、この原因腫瘍が FGF-23 を分泌するに至るには、骨・骨芽細胞特異的遺伝子が TIO 腫瘍において発現することが必要で、特に転写因子である Osterix の発現が重要であることを示した。CKD 患者では、血清 FGF-23 濃度の過剰状態が報告されており、その是正が CKD 患者の予後を改善することが示唆されている。TIO 腫瘍における FGF-23 発現調節機構の検討を介して、CKD 病態における FGF-23 調節機構の解明が今後進展し、CKD 患者の病態解明や新規治療法の開発に寄与することが期待される。</p>	